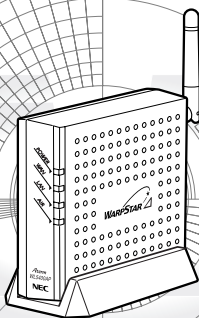
NEC

Aterm® WL5400AP

無線 LAN ご利用ガイド

このたびは、『Aterm WL5400AP』をお選びいただきありがとうございます。ご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

Total 802.11™ ABG ATHEROS

「ソフトウェアのご使用条件」は、3ページに記載されています。添付 CD-ROM を開封する前に必ずお読みください。

はじめに

『Aterm（エーターム） WL5400AP』は、有線LANに接続してIEEE802.11a, IEEE802.11b, IEEE802.11g対応の無線LANのアクセスポイントとして使用することができます。
ご利用いただける子機の最新情報は、別紙に記載のホームページなどをご確認ください。

- Aterm® は、日本電気株式会社の登録商標です。
- Windows® は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Editionの略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
- Mac、Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- AirMacは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Netscape®は米国Netscape Communications Corporationの登録商標です。
- “PlayStation®”は株式会社ソニー・コンピュータ・エンタテインメントの登録商標です。
- JavaScript®は米国Sun Microsystems. Inc.の登録商標です。
- Linux®は、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Acrobat® Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Atheros™、ABG、Super AG及びTotal 802.11のロゴはAtheros Communications, Inc.の商標であり、NECアクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。
- その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

本商品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC ・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・ NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

（1） 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
（2） お客様は 1 ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3） 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4） 許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5） 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件にもとづくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、ただちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

（1） お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2） お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1） お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。
（2） お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
（3） 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転等

（1） お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有するAtermシリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。

（2） お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイル等

（1） お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

（1） 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。

（2） 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から1年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により行った場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。

（3） 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

（1） 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害についていっさい責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになったAtermシリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

（1） お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。

（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、表示される「この CD-ROM について」をよくお読みください。

① パソコンに表示されるガイドに従って導入や基本的な設定などを行う「らくらくウィザード」(Windows® 版)
② 子機(無線 LAN カード)の無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」(Windows® 版)
③ 子機(無線 LAN カード)用のドライバー式(Windows® 版)

【ご使用上のご注意】

Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE/98 でご使用の方

- 添付の CD-ROM をセットしても「この CD-ROM について」の HTML ファイルが起動しない場合は、以下の操作を行います。
  ① Windows® の[スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]を選択する
  ②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥index.html と入力し、[OK]をクリックする
  (例: CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q:¥index.html)
  また、パソコンにより異なりますが、自動起動しないようにするには、「Shift」キーを押しながら CD-ROM をセットします。
- CD-ROM をパソコンから取り出す時には、「この CD-ROM について」の HTML ファイルを閉じたあとに行ってください。
- Windows® XP/2000 Professional でらくらくウィザードのインストール、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator(権限のあるアカウント)でログオンしてください。

CD-ROM の動作環境

● Windows® 動作環境

- Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE/98 が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。
- 推奨環境

  ハードディスクの空き容量： 30MB 以上を推奨
  Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
  メモリ 32MB 以上
  800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたカラーモニタ

●表示画面
・サイズ ：800 × 600 ピクセル以上
・色　　 ：High-Color 以上
上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

●「この CD-ROM について」と「らくらくウィザード」の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。
・ Windows® ： Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

⚠ 警　告　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意　：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い　：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

⚠ 警　告

電源

- AC100V の家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  差込口が２つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品の AC アダプタ（電源プラグ）は、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- AC アダプタ（電源プラグ）は必ず本商品に添付のものをお使いください。他の AC アダプタ（電源プラグ）を使用すると火災、感電、故障の原因となります。また、AC アダプタ（電源プラグ）に物をのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品添付の AC アダプタ（電源プラグ）は日本国内用 AC100V（50/60Hz）の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。

⚠警　告

こんなときには

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理持ち込み先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理持ち込み先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災、感電、故障の原因となります。

- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理持ち込み先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理持ち込み先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。

- 万一、落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理持ち込み先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本商品をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。
電波により影響を受ける恐れがあります。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠ 注　意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など､不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  - ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  - ・じゅうたんや布団の上に置く
  - ・テーブルクロスなどを掛ける

⚠ 注　意

- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

電源

- 本商品のACアダプタ（電源プラグ）はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずACアダプタ（電源プラグ）を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電、故障の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、本体のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。

- 本商品のACアダプタ（電源プラグ）とコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

- 雷が鳴りだしたら、電源コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

- つなぎかたガイドおよび無線LANご利用ガイドに従って接続してください。
  間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。
  社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

- 本商品のアンテナを誤って目に刺さないようにしてください。

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

- ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しで 180m 程度（IEEE802.11a 通信時は 90m 程度）です。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。
  また、親機との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

お願い

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 本体の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上間隔をあけてから電源を入れてください。
  すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。

無線LANに関する注意

- 無線LAN接続は、通信速度がETHERNETポートに接続した場合と比べ遅くなることがあります。
- 無線LANの速度は、規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

その他注意事項

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意
（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
無線ＬＡＮ機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定がほどこされていない場合があります。
したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線ＬＡＮカードや無線ＬＡＮアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線ＬＡＮ機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。
なお、無線ＬＡＮの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティの設定等について、ご不明な点があれば、別紙に示すお問い合わせ先までお問い合わせください。
当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。
セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

ワイヤレス機器の使用上の注意

●IEEE802.11a 通信利用時は 5.2GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。
この周波数は、2.4GHz 帯使用の IEEE802.11b/Bluetooth 等の機器との通信はできません。

●IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

●IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OF-DM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4 DS·OF 4

2.4 ： 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS·OF ： DS-SS 方式及び OF-DM 方式を示す
4 ： 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■ ： 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

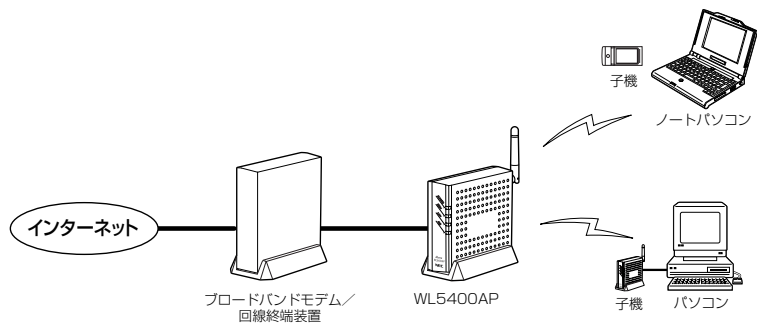
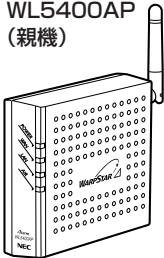
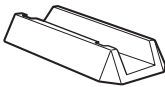
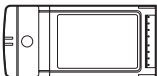
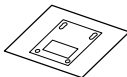
（1） 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2） 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3） その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

1 はじめにお読みください

本商品を設置、接続する前に必ず確認しておきましょう。

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

1-1 本商品でできること

本商品は有線LANに接続してIEEE802.11a，IEEE802.11b，IEEE802.11g対応の無線LANのアクセスポイントとして使用することができます。

● ご利用いただける子機についての最新情報は、別紙に記載のホームページをご確認ください。

1-2 添付品を確認する

設置を始める前に、添付品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

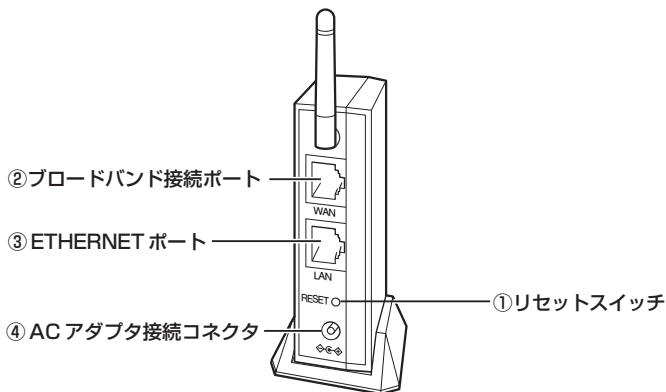
●添付品

1-3 各部の名前とはたらき

前面図

【ランプ表示】

ランプの種類	点灯状態		状　態
① POWER（電源）	緑	点灯	電源が入っているとき
	消灯		電源が入っていないとき
② WAN（ブロードバンド接続ポート状態表示）	緑	点灯	ブロードバンド接続ポートのリンクが 100Mbps 確立しているとき
		点滅	ブロードバンド接続ポートでデータ送受信中（リンク速度100Mbps）
	橙	点灯	ブロードバンド接続ポートのリンクが 10Mbps 確立しているとき
		点滅	ブロードバンド接続ポートでデータ送受信中（リンク速度10Mbps）
	消灯		ブロードバンド接続ポートのリンクが確立していないとき
③ LAN（ETHERNET ポート状態表示）	緑	点灯	ETHERNET ポート（LAN）のリンクが 100Mbps 確立しているとき
		点滅	ETHERNET ポート（LAN）でデータ送受信中（リンク速度 100Mbps）
	橙	点灯	ETHERNET ポート（LAN）のリンクが 10Mbps 確立しているとき
		点滅	ETHERNET ポート（LAN）でデータ送受信中（リンク速度 10Mbps）
	消灯		ETHERNET ポート（LAN）のリンクが確立していないとき
④ AIR（無線状態表示）	緑	遅い点滅	IEEE802.11b＋g モード、IEEE802.11g モードに設定しているとき
		速い点滅	IEEE802.11b＋g モード、IEEE802.11g モードで無線データ送受信中
	橙	遅い点滅	IEEE802.11a モードに設定しているとき
		速い点滅	IEEE802.11a モードで無線データ送受信中
		点灯	ファームウェアをバージョンアップしているとき（☛P3-29） リセットスイッチを押しているとき（☛P5-10）

背面図

名　称	説　明
①リセットスイッチ（RESET）	初期化するときに使用します。（☛P5-10）
②ブロードバンド接続ポート（WAN）	ブロードバンドモデム／回線終端装置との接続に使用します。
③ETHERNET ポート（LAN）（100BASE-TX/10BASE-T）	パソコンまたはゲーム機などと接続します。
④AC アダプタ接続コネクタ	添付の AC アダプタを接続します。

1-4 あらかじめ確認してください

パソコンなどの接続機器の確認

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- **WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」になっていること（☛P1-8）**
- **ファイアウォールソフトの停止**
  本商品設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したままでいる）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
- **ETHERNET（イーサーネット） ポート（LAN ポート）を装備していること**
  お使いのパソコンに ETHERNET ポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、100BASE-TX ／ 10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。
- **TCP/IP プロトコルスタックに対応していること**
  必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
- **パソコンの IP アドレスを確認すること（☛P3-3）**
- **ゲーム機などでゲームを使用するときは**
  本商品はゲーム機に接続して設定することができます。（☛P3-30）
  本商品と接続機器の間に HUB などを接続しないでください。

WWW ブラウザのバージョンを確認する

本商品は、以下の WWW ブラウザで設定できます。

＜設定できる WWW ブラウザ＞

Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE/98 の場合

Microsoft® Internet Explorer Ver.5.5 以上に対応

Netscape® 6.1 以上に対応

Mac OS X/9.2/9.1/8.6 の場合

Microsoft® Internet Explorer Ver.5.0 以上に対応

Netscape® 6.01 以上に対応

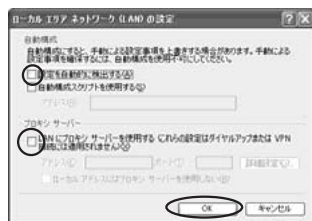
“PlayStation® 2”用ブラウザ「PlayStation BB Navigator」

※指定以外のブラウザを使用する場合、表示・設定で正しく動作しない場合があります。正しくご利用いただくためには指定のブラウザでご使用ください。

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer 等）の接続設定を「ダイヤルアップしない」に変更します。
以下は Windows® XP/2000 Professinal/Me で Internet Explorer 6.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェア等）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

① Internet Explorer のアイコンをダブルクリックして、Internet Explorer を起動します。
② ［ツール］の［インターネットオプション］を選択します。
③ ［接続］タブをクリックします。
④ ダイヤルアップの設定の欄で、［ダイヤルしない］を選択してください。

⑤ ［LAN の設定］をクリックします。
⑥「設定を自動的に検出する」と［LAN にプロキシサーバーを使用する］の ☑ を外して、［OK］をクリックします。
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。

⑦ ［OK］をクリックします。

JavaScript® の設定を確認する

WWWブラウザで設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。
※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定が正しくできないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

■ Internet Explorer の場合

Windows® XP の場合（Internet Explorer のバージョン 6.0 の例です。）

1 ［スタート］－［コントロールパネル］－［クラシック表示に切り替える］－［インターネットオプション］をダブルクリックする

2 ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする

3 ［サイト］をクリックする

4 ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す

5 ［次の Web サイトをゾーンに追加する］に「http://192.168.0.204/」を入力し［追加］をクリックする

※本商品の IP アドレスを変更した場合は、変更後のアドレスを入力してください。（装置 IP アドレスの設定方法 ☛P3-27）
※本商品の IP アドレスは、DHCP サーバのあるネットワークに接続されている場合、変更になる場合があります。その場合は本商品の IP アドレスを固定にすることをお勧めします。（☛P3-27）

6 ［OK］をクリックする

7 ［レベルのカスタマイズ］をクリックし、下向き▼（矢印）をクリックし、画面をスクロールする

（次ページに続く）

1 はじめにお読みください

8 ［アクティブ スクリプト］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする

9 ［OK］をクリックする

Mac OS X の場合（Internet Explorer のバージョン 5.1 の例です。）

1 インターネットエクスプローラを起動してメニューバーの［Explorer］から［環境設定］をクリックする

2 ［Web ブラウザ］から［セキュリティゾーン］をクリックする

3 ［ゾーン］から［信頼済みサイトゾーン］をクリックする

4 ［サイトの追加］をクリックする

5 ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す

6 ［追加］をクリックする

7 「http://192.168.0.204/」と入力する

※本商品の IP アドレスを変更した場合は、変更後のアドレスを入力してください。（装置 IP アドレスの設定方法 ☛P3-27）

※本商品の IP アドレスは、DHCP サーバのあるネットワークに接続されている場合、変更になる場合があります。その場合は本商品の IP アドレスを固定にすることをお勧めします。（☛P3-27）

8 ［OK］をクリックする

9 ［Web ブラウザ］から［Web コンテンツ］をクリックする

10 ［アクティブコンテンツ］で、［スクリプトを有効にする］にチェックを入れる

11 ［OK］をクリックし、メニューバーの[Explorer]から[Explorer 終了]をクリックする

※アプリケーションを一度終了させないと、設定は登録されません。

※セキュリティレベルを「高」に設定している場合、またはカスタム設定で［スクリプト］の［スクリプトの実行］を「無効」に設定している場合には、同現象が発生します。設定時にセキュリティレベルを「低」に変更していただくかカスタム設定の［スクリプトの実行］を「有効」に設定してください。

■ Netscapeの場合

Windows® XPの場合（Netscapeのバージョン7.1の例です。）

1. Netscapeを起動する

2. メニューバーから［編集］－［設定］をクリックする

3. ［カテゴリ］の中から［詳細］－［スクリプトとプラグイン］をクリックする

4. ［Javascriptを有効にする］の［Navigator］にチェックを入れる

5. ［OK］をクリックする

Mac OSの場合（Netscapeのバージョン6.1の例です。）

1. Netscapeを起動する

2. メニューバーから［編集］－［設定］を選択する

3. ［カテゴリ］の中から［詳細］をクリックする

4. ［Javascriptを有効にする］にチェックを入れる

5. ［OK］をクリックし、メニューバーの［Netscape］から［Netscapeを終了］をクリックする

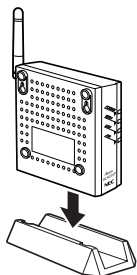
※アプリケーションを一度終了させないと、設定は登録されません。

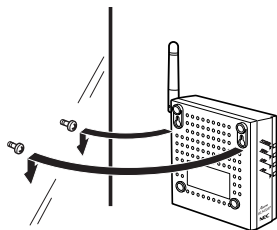
2

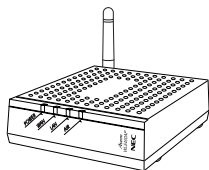
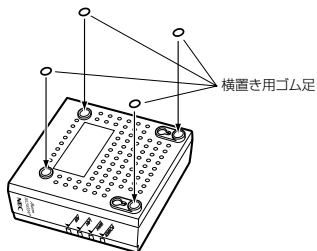
設置・接続

2-1 設置する

縦置きの場合

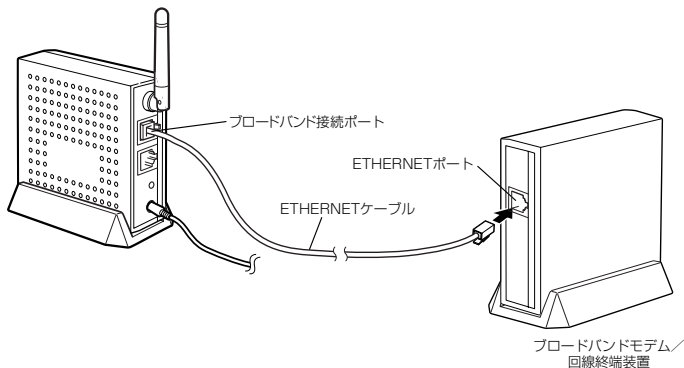
図のように縦置きスタンドを取り付けます。
設置の際は無線状態を最適にするため、アンテナが垂直になるように設置してください。
※縦置きスタンドと本体の向きを合わせてください。

壁掛けの場合

図のように壁に取り付けます。
※壁に取り付ける際は、あらかじめ壁掛け用台紙に合わせて添付のネジで取り付けてください。

横置きの場合

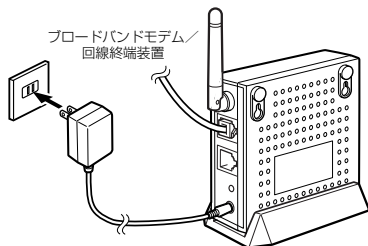
添付の横置き用のゴム足を取り付け、図のように設置します。

2-2 接続する

ブロードバンドモデム／回線終端装置と接続する

1 ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認する

2 本商品のブロードバンド接続ポートとブロードバンドモデム／回線終端装置のETHERNET ポートをETHERNET ケーブルで接続する

3 AC アダプタの電源ジャックを本商品に取り付ける

（次ページに続く）

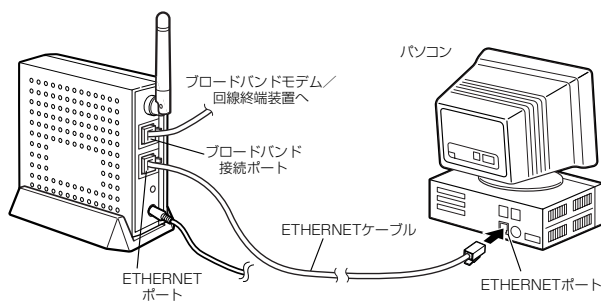
4　本商品のACアダプタを電源コンセントに接続する

5　本商品のPOWERランプが緑点灯し、WANランプが緑または橙点灯することを確認する

※しばらくしてAIRランプが点滅します。（各部の名前とはたらき ☛P1-4）

パソコンと接続する

本商品のETHERNETポートにパソコンを接続して有線でご利用いただけます。
(ETHERNETポートにパソコンを接続する場合のみ接続します。)

1 パソコンの電源を入れておく

2 本商品のETHERNETポートとパソコンのETHERNETポートをETHERNETケーブルで接続する

3 本商品のLANランプが緑または橙点灯することを確認する

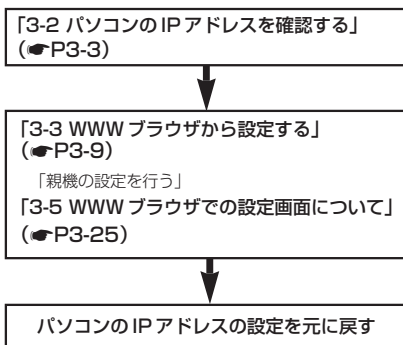
3 設定する

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

3-1 設定手順

ここでは、本商品を設定するときの手順を説明しています。子機かららくらくウィザードで設定する場合は「つなぎかたガイド」（別紙）を参照してください。

本商品は、すでに無線設定が行われた状態で出荷していますので、ここでの設定は必要ありません。ネットワーク名（ESS-ID）・暗号化キーの変更を行う場合や無線セキュリティの機能を追加する場合は、本書を参照して設定を行ってください。
また、本商品を初期化した場合は、無線設定が初期化されますのでここで再設定を行ってください。

ゲーム機から設定する場合は、「ゲーム機 PlayStation®2 用「PlayStation BB Navigator」で本商品の設定を行う場合について」（☛P3-30）を参照してください。

3-2 パソコンのIPアドレスを確認する

本商品を設定する前に、パソコンのIPアドレスを確認します。
らくらくウィザードを使用して本商品を設定する場合は、DHCPサーバ機能を持ったブローバンドモデムに接続して［IPアドレスを自動的に取得する］に設定します。
また、ETHERNETポートに接続したパソコンから、WWWブラウザのみで本商品を設定する場合は、パソコンのIPアドレスの設定を固定にします。設定後は、使用するネットワーク体系にあわせてIPアドレス/ネットマスクの設定を行ってください。

Windows® XPの場合

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする

3 ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

5 設定する環境にあわせて次のように設定する

■らくらくウィザードで設定する場合

① ［IPアドレスを自動的に取得する］を選択する。
② ［DNSサーバのアドレスを自動的に取得する］を選択する。
③ ［OK］をクリックする。
④ ［OK］または［閉じる］をクリックする。

「らくらくウィザードをインストールする」(☛P3-9）に進みます。

■らくらくウィザードを使用せずにWWWブラウザのみで設定する場合

① ［次のIPアドレスを使う］をクリックする。
② 次のように入力する。
IPアドレス：
192.168.0.XXX（XXXは2～199、211～254の数字で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス）
サブネットマスク：
255.255.255.0
③ ［OK］をクリックする。
④ ［OK］または［閉じる］をクリックする。

「らくらくウィザードを使用せずにWWWブラウザのみで設定する場合」(☛P3-13）に進みます。

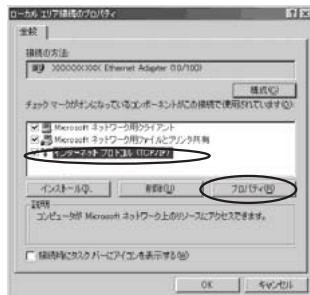
3 設定する

Windows® 2000 Professional の場合

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとダイヤルアップ接続］をダブルクリックする

3 ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 リストの［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

5 設定する環境にあわせて次のように設定する

■らくらくウィザードで設定する場合

① ［IP アドレスを自動的に取得する］を選択する。
② ［DNS サーバのアドレスを自動的に取得する］を選択する。
③ ［OK］をクリックする。
④ ［OK］または［閉じる］をクリックする。

「らくらくウィザードをインストールする」(☛P3-9) に進みます。

■らくらくウィザードを使用せずに WWW ブラウザのみで設定する場合

① ［次の IP アドレスを使う］をクリックする。
② 次のように入力する。
IP アドレス：
192.168.0.XXX（XXX は 2 ～ 199、211 ～ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していない IP アドレス）
サブネットマスク：255.255.255.0
③ ［OK］をクリックする。
④ ［OK］または［閉じる］をクリックする。

「らくらくウィザードを使用せずに WWW ブラウザのみで設定する場合」(☛P3-13) に進みます。

Windows® Me/98SE/98の場合

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックする

3 リストの［TCP/IP －＞お使いのLANカード（またはお使いのLANボード)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

4 設定する環境にあわせて次のように入力する

■らくらくウィザードで設定する場合

①［IPアドレスを自動的に取得］をクリックする。

➡「らくらくウィザードをインストールする」(☛P3-9) に進みます。

■らくらくウィザードを使用せずにWWWブラウザのみで設定する場合

①［IPアドレスを指定］をクリックする。

② 次のように入力する。

IPアドレス：

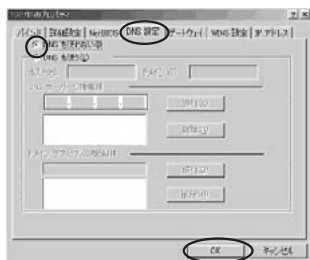
192.168.0.XXX（XXXは2～199、211～254の数字で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス）

サブネットマスク：255.255.255.0

➡「らくらくウィザードを使用せずにWWWブラウザのみで設定する場合」(☛P3-13) に進みます。

（次ページに続く）

5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する

6 [DNS 設定] タブをクリックし、[DNS を使わない] を選択して [OK] をクリックする

7 [OK] をクリックする

8 再起動の指示があった場合はパソコンを再起動する

Mac OS Xの場合

以下は、Mac OS X 10.2の例です。

1 アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

2 ［表示］を［内蔵Ethernet］にし、［TCP/IP］をダブルクリックする

3 次のように設定する

①［設定］を［手入力］にする。

② 次のように入力する。

IPアドレス：

192.168.0.XXX（XXXは2～199、211～254の数字で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス）

サブネットマスク：255.255.255.0

4 ［今すぐ適用］をクリックし、ウィンドウを閉じる

「らくらくウィザードを使用せずにWWWブラウザのみで設定する場合」(☛P3-13）に進みます。

Mac OS 9.x/8.x の場合

1 アップルメニューの［コントロールパネル］の［TCP/IP］を開く

2 ［経由先］を［Ethernet］にする

3 次のように設定する

① ［設定を手入力］にする。
② IP アドレスとサブネットマスクを次のように入力する。
IP アドレス：
192.168.0.XXX（XXX は 2 ～ 199、211 ～ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していない IP アドレス）
サブネットマスク：255.255.255.0

4 確認のダイアログが表示されたら［保存］をクリックする

「らくらくウィザードを使用せずに WWW ブラウザのみで設定する場合」(☛P3-13）に進みます。

3-3 WWW ブラウザから設定する

本商品を設定は、次の２通りの方法で行えます。ご使用の環境に合わせて、それぞれの方法で設置してください。

・OS が Windows ® XP/2000 Professional/Me の場合
　らくらくウィザードから設定します。
　→パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認し（☛P3-3）、「らくらくウィザードをインストールする」（☛ 下記）へお進みください。

・ゲーム機や Macintosh パソコンなどからご使用になる場合
　WWW ブラウザから設定します。
　→パソコンの IP アドレスが固定になっていることを確認し（☛P3-3）、「らくらくウィザードを使用せずに WWW ブラウザのみで設定する場合」（☛P3-13）へお進みください。

らくらくウィザードをインストールする

本商品を設定するために必要なユーティリティ「らくらくウィザード」をパソコンにインストールします。設定は本商品に接続したパソコンから行います。

3
設定する

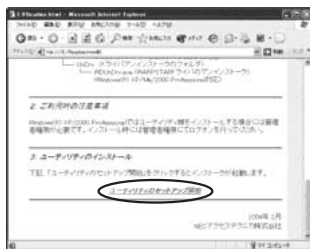
1 Windows ® XP/2000 Professional/Me を起動する

Windows ® XP/2000 Professional の場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

2 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする

「この CD-ROM について」の HTML ファイルが自動的に表示されます。

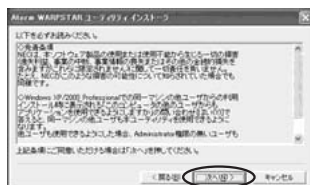
表示されないときは（☛P5）

3 ［ユーティリティのセットアップ開始］をクリックする

4 ［Setup.exe］をダブルクリックする

（次ページに続く）

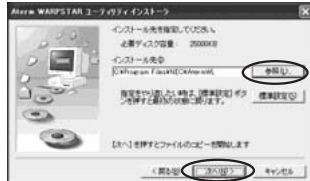
5 ［次へ］をクリックする

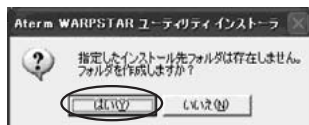
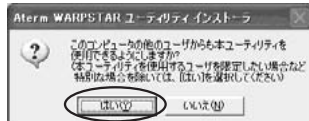
6 ［次へ］をクリックする

7 画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする

8 ［すべて］を選択し［次へ］をクリックする

［サテライト］を選択するとサテライトマネージャのみをインストールします。

9 表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

10 次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

インストールが開始されます。

11 ［はい］をクリックする

12 ［README の表示］にチェックが入っている（☑）ことを確認し、［完了］をクリックする

らくらくウィザード、サテライトマネージャがインストールされました。

13 README をよく読み、［README］画面を閉じる

インストールが完了し、らくらくウィザードが起動します。

14 「この CD-ROM について」画面を閉じる

「この CD-ROM について」画面の後ろにらくらくウィザード画面が隠れている場合があります。その場合は、「この CD-ROM について」を閉じると表示されます。

「クイック設定 Web を起動する」（☛P3-12）に進みます。

らくらくウィザードの音声ガイダンスについて

らくらくウィザードでは音声で説明がされます。音声ガイダンスは画面左下の をクリックして、再生か再生禁止の切り替えができます。

らくらくウィザードを起動するには

らくらくウィザードを終了させたあとに、再度らくらくウィザードを起動するときは、［スタート］をクリックし、［プログラム］—［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］—［らくらくウィザード］をクリックします。

3 設定する

クイック設定 Web を起動する

1 らくらくウィザードを起動する（☛P3-11）

2 ［次へ］をクリックする

3 ［クイック設定 Web］をクリックする

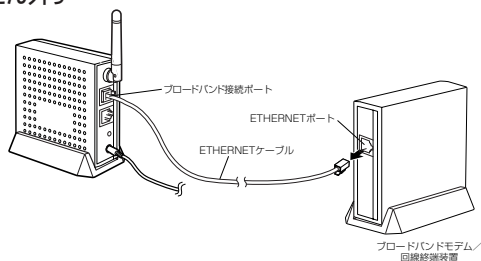
「親機の設定を行う」（☛P3-14）の手順３に進みます。

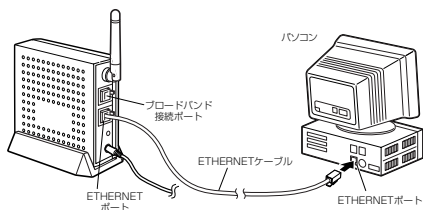
らくらくウィザードの［クイック設定 Web］ボタンについて

らくらくウィザードの［クイック設定 Web］ボタンは、WL5400AP の他に WARPSTAR 親機が存在している場合でも、WL5400AP 側の［クイック設定 Web］が開きます。
WL5400AP 以外の WARPSTAR 親機の［クイック設定 Web］を開く場合は、WWW ブラウザを起動し、アドレスに"http://web.setup/" または"http://192.168.0.1/" と入力して開いてください。

らくらくウィザードを使用せずに WWW ブラウザのみで設定する場合

ゲーム機で設定する場合は、「ゲーム機 PlayStation ® 2 用「PlayStation BB Navigator」で本商品の設定を行う場合について」(☛P3-30) を参照してください。

1 本商品のブロードバンド接続ポートに接続しているブロードバンドモデムをいったん外す

2 本商品の電源をいったん切って入れ直す

3 本商品の ETHERNET ポートにパソコンを接続する

4 パソコンの IP アドレスが固定になっていることを確認する（☛P3-3）

5 WWW ブラウザを起動し、アドレスに本商品の IP アドレス（工場出荷時は 192.168.0.204 です）を入力して［Enter］キーを押す

例：http://192.168.0.204/

（ゲーム機の場合は http://192.168.0.204/nonpc_menu.html）

※本商品の IP アドレスを変更した場合はそのアドレスを入力してください。（装置 IP アドレスの設定方法 ☛P3-27）

「親機の設定を行う」（☛P3-14）の手順 3 に進みます。

親機の設定を行う

WWW ブラウザで親機との通信ができるようにするための設定を行います。
ゲーム機で設定する場合は「ゲーム機 PlayStation®2 用「PlayStation BB Navigator」で本商品の設定を行う場合について」(☛P3-30)を参照してください。
※お使いの WWW ブラウザによっては表示される画面が異なる場合があります。

1 らくらくウィザードを起動する

2 [クイック設定 Web] をクリックする

3 ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードは空欄のまま [OK] をクリックする

(「admin」は、半角小文字で入力してください。)

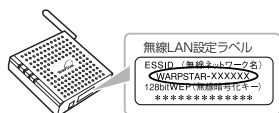
※ユーザー名とパスワードは変更できます。パスワードはあとで必ず変更してください。(☛P3-28)

WWW ブラウザの設定画面が表示されないときは(☛P5-2)

4 [無線 LAN 基本設定] をクリックする

5 ［接続ネットワーク名（ESS-ID)］に無線ネットワーク内で使用するネットワーク名を入力する

使用する親機のネットワーク名を確認しておいてください。

※ 工場出荷時のネットワーク名は、無線LAN設定ラベル（本商品底面に貼付のラベル）に設定済みになっています。
ただし、初期化した場合XXXXXXは親機側面のラベルに記載されているMACアドレス下6桁に変わりますので、無線LAN設定ラベルのネットワーク名に書き換えてください。

6 ［無線動作モード］で無線ネットワーク内で使用する無線動作モードを選択する

無線動作モードの選び方

802.11a …… 電波が届く範囲であれば他の無線モードより高速な通信が可能です。
802.11g …… 802.11aよりも広い範囲で高速な通信が可能です。
802.11g+b… 802.11bにしか対応していない子機との混在環境での利用に適しています。

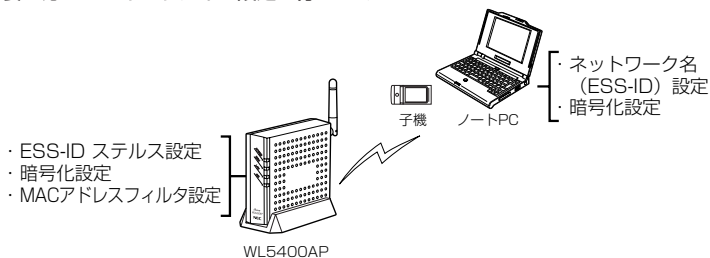
7 ［使用チャネル］で無線通信に使用するチャネルを選択する

8 ［設定］をクリックする

9 ［OK］をクリックする

10 ［再起動］をクリックする

3-4 無線のセキュリティ対策をする

本商品は、他の無線LANパソコンから本商品（親機）や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、ESS-IDステルス機能、無線暗号化機能、MACアドレスセキュリティ機能を搭載しています。子機が複数台ある場合は、それぞれの子機についてセキュリティの設定を行う必要があります。
必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

セキュリティ対策を行うことの重要性について

ワイヤレス子機による無線通信を行う場合は、無線LAN内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われる危険性があります。

ESS-IDステルス機能：
本商品（親機）が第三者からのESS-IDの参照に応答しないようにすることで、不正アクセスの対策を行います。

MACアドレスセキュリティ機能：
特定の端末のみを本商品（親機）に登録することで、不正アクセスの対策を行います。

無線暗号化機能：
本商品（親機）と子機との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護することで、第三者による傍受や盗聴の対策を行います。

お願い

●本商品（親機）側の設定をMacintoshパソコンから行う場合は、本商品（親機）のETHERNETポートに接続して設定してください。子機（WL54AG）はMacintoshではご使用になれません。

■ESS-IDステルス機能を設定する

無線LAN機器が、通信するお互いを識別するIDとしてネットワーク名（ESS-IDとも呼びます）があります。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。
一般にネットワーク名は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。
※本商品独自の機能です。子機側から親機への接続は、サテライトマネージャをお使いください。

1 **らくらくウィザードを起動する（☛P3-11）**
※らくらくウィザードを使用せずにWWWブラウザのみで設定する場合（☛P3-13）

2 **［クイック設定Web］をクリックする**

3 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする**
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。
※管理者パスワードの初期値は空欄です。
ユーザー名とパスワードは変更できます。（☛P3-28）

4 **［無線LAN基本設定］をクリックする**

5 **［ESS-IDステルス機能］で［使用する］を選択する**

（次ページに続く）

6 ［設定］をクリックする

7 ［OK］をクリックする

8 ［再起動］をクリックする

■MAC アドレスセキュリティ機能

MAC アドレスが登録された子機とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない子機から LAN やインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。最大 20 個設定できます。

<クイック設定 Web で設定する>

1 らくらくウィザードを起動する（☛P3-11）
※らくらくウィザードを使用せずに WWW ブラウザのみで設定する場合（☛P3-13）

2 ［クイック設定 Web］をクリックする

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。
※管理者パスワードの初期値は空欄です。
ユーザー名とパスワードは変更できます。（☛P3-28）

4 ［MAC アドレスフィルタ設定］をクリックする

5 ［エントリ追加］をクリックする

3 設定する

（次ページに続く）

6 ［MACアドレスフィルタエントリ追加］で次のように登録する

①指定方法を選択する

手動指定：MACアドレスに直接無線接続を許可する子機のMACアドレスを入力します。

選択指定：MACアドレス（アクセス履歴）から選択し登録をします。

②手動指定の場合は、登録する子機のMACアドレスを入力する

MACアドレスは2文字ずつコロン（：）で区切って入力してください。

例）MACアドレスがXX-XX-XX-XX-XX-XXの場合は、XX:XX:XX:XX:XX:XXと入力します。

子機のMACアドレスは子機に記載されています。

選択指定の場合は、「アクセス履歴」の ▼ をクリックして登録する子機のMACアドレスを選択します。

③［追加］をクリックする

7 ［フィルタエントリ設定］のリストに使用する子機のMACアドレスが正しく登録されていることを確認して手順8に進む

注意：MACアドレスフィルタ設定を「有効にする」ときは、エントリ番号のチェックボックスにはチェックを入れない（□）でください。
このチェックボックスは、フィルタエントリ設定リストから「登録したエントリを削除」する場合にのみチェックを入れます（☑）。
エントリを削除したい場合は、エントリ番号のチェックボックスにチェックを入れて（☑）、［選択したエントリを削除］をクリックしてください。

8 ［MACアドレスフィルタ設定］で［有効にする］をクリックする

9 ［OK］をクリックする

10 ［再起動］をクリックする

MAC アドレスフィルタの設定を変更した場合は、再起動後に有効になります。

親機で MAC アドレスによる接続制限を行う場合

親機で MAC アドレスによる接続制限を行う場合（MAC アドレスフィルタリング）、通常は子機の MAC アドレスを登録することで無線接続する子機を制限できますが WL54TE を子機として接続するときは、WL54TE に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスを登録してください。
また、WL54TE に接続する端末が複数台ある場合は、すべての端末の MAC アドレスを登録してください。

→ WL54TE では接続している複数の端末の MAC アドレスのうちいずれか 1 つに変換されますので、登録していない MAC アドレスに変換された場合は、WL54TE に接続しているすべての端末が親機と無線接続できなくなります。
また、登録している MAC アドレスに変換された場合は、MAC アドレスを登録していない端末でも無線接続できることがあります。

■無線暗号化を設定する

ユーザーが指定した任意の文字列（暗号化キー）を本商品（親機）と子機（子機を使用するパソコン）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、本商品（親機）と子機との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。
ここでは本商品（親機）側の設定を説明しています。サテライトマネージャを利用して本商品（親機）と子機の設定を行うこともできます。(☛P4-8)

<暗号化方式について>

- WEP（Wired Equivalent Privacy）
  IEEE802.11 で定められた暗号化方式。
- TKIP（Temporal Key integrity Protocol）
  Wi-Fi Alliance の新セキュリティプロトコル（WPA）に採用の暗号化方式。
  パケットごとに暗号化キー（WEP）を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。
- AES（Advanced Encryption Standard)
  米商務省技術標準局（NIST）が選定した次世代の暗号化方式。
  WEP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

- 暗号化の設定は必ず本商品（親機）と子機（子機を使用するパソコン）で同じ設定にしてください。(☛P3-23)
- 暗号化キーは無線アクセスポイント 1 つにつき 1 つだけ使用します。複数の子機を使用する場合、すべての子機に無線アクセスポイントと同じ暗号化キーを設定してください。
  らくらくウィザードで暗号化の設定を行った場合、暗号化キーは 1 番に設定されています。
- 1 つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1 つです。混在はできません。また、AES、TKIP の暗号化方式をご利用になるには、対応した子機が必要です。
- 親機で「WPA-TKIP モード」を使用している場合、子機（WL54AG）側は暗号化キーが一致していれば、「WPA-TKIP モード」または「WPA-AES モード」のどちらの暗号化モードでも親機に接続できます。

＜暗号化の設定（親機）＞

1 **らくらくウィザードを起動する（☛P3-11）**

※らくらくウィザードを使用せずにWWWブラウザのみで設定する場合（☛P3-13）

2 **［クイック設定Web］をクリックする**

3 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。
※管理者パスワードの初期値は空欄です。
ユーザー名とパスワードは変更できます。（☛P3-28）

4 **［暗号化設定］をクリックする**

5 **［暗号化］の項目で設定する**

※WL5400APにはWEPの暗号化キー1番が設定済みになっています。
ただし、初期化した場合は設定がクリアされますので、無線LAN設定ラベル（本体底面に貼付のラベル）の暗号化キーに設定し直してください。

■暗号化モードでWEPを使用する場合

①［暗号化モード］で［WEP］を選択する
②暗号強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する
「64bit」（弱）＜「128bit」＜「152bit」（強）の順で強い暗号がかかります。
③［指定方法］から暗号化キーの種類を［英数字］または［16進数］のどちらかを選択する
※［英数字］→英数字（0～9、a～z、A～Z）の組み合わせで暗号を作成します。
［16進］→16進（0～9、a～f、A～F）の組み合わせで暗号を作成します。
※指定した暗号化強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。
④［使用する暗号化キー番号］を［暗号化キー1番～4番］で選択する
⑤指定した番号（1番～4番）に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

※152bitWEPを使用する場合

子機を使用するパソコンがWindows® XPの場合、サテライトマネージャで設定する必要があります。（☛P4-8）

（次ページに続く）

■暗号化モードで WPA［推奨］を使用する場合

①［暗号化モード］で［WPA］を選択する

②［暗号化方式］で［PSK（TKIP)］、または［PSK（AES)］を選択する

③［WPA 暗号化キー］を入力する

暗号化キーは、8～63 桁の英数記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・8～63 桁の場合

英数記号

【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>＊</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
</table>

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

・64 桁の場合

16 進数【0～9、a～f、A～F】

④［暗号化キー更新間隔］で暗号化の更新時間を入力する

更新時間は、1～99 分の間で設定できます。

6 ［設定］をクリックする

7 ［OK］をクリックする

8 ［再起動］をクリックする

本商品（親機）が再起動します。（暗号化キーを設定していない子機から接続できなくなります。子機の暗号化の設定を行ってください。）

3-5 WWW ブラウザでの設定画面について

WWW ブラウザでクイック設定 Web を起動し、本商品の設定ができます。
ゲーム機で設定する場合は「ゲーム機 PlayStation®2 用「PlayStation BB Navigator」で本商品の設定を行う場合について」(☛P3-30)を参照してください。
※お使いの WWW ブラウザによっては表示される画面が異なる場合があります。

! 設定の登録のしかた

それぞれのページで［設定］をクリックしたあと、［再起動］をクリックして、本商品を再起動することにより設定内容を本商品に書き込みます。

お知らせ

●Mac OS X で Internet Explorer をご利用の場合、WWW ブラウザでの設定が反映されないことがあります。その場合には、以下の手順でキャッシュの設定を行ってください。

① Internet Explorer を起動し、メニューバーの［Explorer］－［環境設定］をクリックします。
② ［Web ブラウザ］の［詳細設定］をクリックします。
③ ［キャッシュ］－［ページの更新］を［常に］にチェックします。
④ ［OK］をクリックします。

設定項目について

ここではそれぞれの項目で何が設定できるのかを説明しています。
設定の変更が必要な場合は、それぞれの画面で設定を行ってください。

【基本設定】

■無線 LAN 基本設定

接続ネットワーク名（ESS-ID）や、通信モードを設定します。
詳細については、P3-15 を参照してください。

■暗号化設定

暗号化の設定をします。
詳細については、P3-23 を参照してください。

【詳細設定】
■ネットワークの設定

現在のネットワークの状態　：本商品の現在の「IP アドレス」「サブネットマスク」を表示しています。

ネットワークの設定
装置 IP アドレスの設定方法　：本商品の IP アドレスを、ブロードバンドモデムなどの DHCP サーバから自動的に取得するか、手動で設定するかを選択します。
手動設定　：IP アドレス、サブネットマスクを手動で設定する場合に入力します。

■ MAC アドレスフィルタ設定
MAC アドレスフィルタの設定をします。
詳細については、P3-19 を参照してください。

【メンテナンス】

■管理者 ID の設定

管理者 ID ：管理者名（ユーザー名）を変更できます。（初期値： admin）

パスワード ：管理者パスワード（パスワード）を設定できます。（初期値：空欄）
使用できる文字は英数半角文字と半角記号で最大 15 文字まで設定できます。

■設定値の初期化

装置の初期化 ：［装置の初期化］をクリックして［OK］をクリックすると本商品の設定が初期値に戻ります。

お知らせ

●初期化すると出荷時の設定（ESS-ID、暗号化など）がクリアされます。

■ファームウェア更新

次の手順で、本商品のバージョンアップができます。

1. **最新のファームウェアをサポートページからダウンロードする**
   ファイルが圧縮されている場合は、解凍します。
2. **［参照］をクリックする**
3. **ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する**
4. **［更新］をクリックする**
5. **［OK］をクリックする**
6. **［OK］をクリックする**

3
設定する

ゲーム機 PlayStation®2用「PlayStation BB Navigator」で本商品の設定を行う場合について

本商品の設定は、らくらくウィザードで簡単に行えます。らくらくウィザードをお使いになれるパソコン（Windows® XP/2000 Professional/Me）をお持ちの場合は、いったん本商品にパソコンを接続して設定することをお勧めします。**(☛P3-9)**
パソコンによる設定環境がない場合は、以下の方法で、ゲーム機（PlayStation®2用「PlayStation BB Navigator」）から設定を行うことができます。

1 設定環境を確認する

本商品に接続して設定を行う機器には以下の条件が必要です。

- ETHERNET ポートが装備されていること
- TCP/IP による通信環境が装備されていること
- TCP/IP のネットワーク設定で、固定 IP アドレスの設定が可能であること
- 本商品のクイック設定 Web を開くことができる WWW ブラウザ機能（“PlayStation®2” 用「PlayStation BB Navigator」）が用意されていること
- WWWブラウザソフトの画面を表示できる出力（テレビ出力など）が装備されていること

2 本商品とゲーム機を接続する

本商品の ETHERNET ポートと、接続機器の ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブルで直接接続します。

- 本商品と接続機器の間に HUB などを接続しないでください。
- 設定が完了するまでブロードバンド接続ポートにブロードバンドモデム等を接続しないでください。

3 接続機器のネットワーク設定

設定を行う機器のネットワーク設定画面を開き、以下のとおり設定を行ってください。
機器の IP アドレス： 192.168.0.100
サブネットマスク： 255.255.255.0
※ DHCP から自動的に IP アドレスを取得せず、手動設定としてください。
※デフォルトゲートウェイ、DNS サーバなど、それ以外の設定は空欄のままにします。

4 本商品のクイック設定 Web を開く

・次のアドレスを入力します。
　http://192.168.0.204/nonpc_menu.html

? クイック設定 Web を開けない場合は...

「サーバが見つかりません」等のエラーメッセージが出てクイック設定 Web を開けない場合は、本商品が DHCP サーバの存在するネットワークに接続されていて、本商品の IP アドレスが書き換わってしまっている可能性があります。
この場合は、ネットワーク内の DHCP サーバ（ルータ、ADSL モデムなど）の電源を切り、本商品を再起動したうえで、上記操作を行ってください。
DHCP サーバが存在しない状態で、本商品を再起動すれば、本商品の IP アドレスは、工場出荷時の設定（192.168.0.204）に戻ります。

5 必要な設定を行う

（☛P3-14）の手順 3 以降を参照して、必要な無線 LAN の設定を行ってください。

ご注意

必要なすべての設定が完了するまで、DHCP サーバ（ルータ、ADSL モデムなど）の電源を入れないでください。設定途中で DHCP サーバ（ルータ、ADSL モデムなど）の電源を入れると、再度ネットワーク内の DHCP サーバ（ルータ、ADSL モデムなど）から IP アドレスを取得してしまい、設定画面に戻ってくることができなくなります。

6 本商品を再起動する

すべての設定が終わったら、本商品を再起動します。

7 無線 LAN の通信を確認する

重要

本商品の設定を終了したあとは、ゲーム機の IP アドレスの設定をお使いのネットワーク環境（ルータなど）に合わせて戻してください。

4 子機の設定をする

4

4-1 子機から本商品（親機）への通信を確立する

本商品（親機）との無線通信を確立するには、次の手順で設定を行ってください。

増設した子機から接続する場合、本商品（親機）にMACアドレスセキュリティの設定を行っている場合は、「無線のセキュリティ対策をする」（☛P3-16）を参照して子機の情報を登録してから接続してください。

子機（WL54AG）の場合

「つなぎかたガイド」（別紙）を参照して設定を行ってください。

↓ らくらくウィザードをインストールする

↓ らくらくウィザードで設定する

子機（WL54AG以外）の場合

子機に添付の取扱説明書を参照して設定を行ってください。本商品（親機）の工場出荷時の設定値については（☛P5-11）を参照してください。

無線LAN内蔵パソコンの場合

本書「無線LAN内蔵パソコンから接続する」（☛P4-3）を参照して設定を行ってください。

↓

本商品（親機）との通信状態を確認する

↓

インターネット接続を確認する

●本商品（親機）の工場出荷時の設定値についてはP5-11を参照してください。

無線LAN内蔵パソコンから接続する

無線LAN内蔵パソコンから本商品（親機）にワイヤレスで接続してブロードバンドインターネット接続することができます。

お願い

●設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンやOSによって異なります。設定方法の詳細については、パソコン等のメーカーにお問い合わせください。
●パソコンに内蔵されている無線モジュールのタイプによっては、本商品の無線動作モードをあらかじめ変更する必要があります。クイック設定Webで変更します。（☛P3-15）
・IEEE802.11b、IEEE802.11gの無線規格に対応している場合
　→802.11g+bモード（初期値）
・IEEE802.11aの無線規格に対応している場合
　→802.11aモード

■無線LAN内蔵パソコンの設定

ご使用の無線LAN内蔵パソコンと本商品（親機）との無線通信を確立する設定を行います。
ご使用の無線LAN内蔵パソコンの機種やOSによって設定方法が異なります。ここでは、Windows® XPの場合を例に説明しています。

1　パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯していることを確認する
・点灯していない場合は、ワイヤレス機能をONにしてください。
・ワイヤレススイッチには「ホットキー」タイプと「プッシュ式トグルスイッチ」タイプと「スライド式スイッチ」タイプがあります。それぞれのワイヤレススイッチのオン／オフのしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2　[スタート]－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[通信]－[ネットワーク接続]をクリックする
「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

3　[ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする
「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

（次ページに続く）

4 ［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックする

①「Windows ®を使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックが入っていることを確認する。

②「最新の情報に更新」をクリックし、「利用できるネットワーク一覧」から接続する本商品（親機）「WARPSTAR-XXXXXX」をクリックし、「構成」をクリックする。

「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されます。

本商品（親機）の出荷時のネットワーク名は、本体底面の無線 LAN 設定ラベルに記載されています。

お知らせ

- 一覧を更新しても本商品（親機）のネットワーク名が表示されない場合は、一度本商品（親機）の電源を切り、再び電源を入れた後で、本商品（親機）POWER ランプが点灯し、AIR ランプが点滅してから、再度「最新の情報に更新」をクリックしてください。
- ESS-ID ステルス機能が有効となっている場合は、「利用できるネットワーク一覧」に本商品（親機）のネットワーク名が表示されません。ESS-ID ステルス機能は無効にしてご利用ください。

5 ネットワーク名（ESS-ID）と暗号化（WEP）設定を行い［OK］をクリックする

本商品は出荷時では暗号化が設定されています。

［データの暗号化］をチェック（☑）し、［ネットワークキー］に本商品（親機）の底面に記載されている暗号化キーの英数字を入力してください。

お知らせ

- セキュリティの設定を行うことで、ワイヤレスネットワークの外部からの不正なアクセスを防止することができます。
- セキュリティの設定を行う場合、本商品（親機）で暗号化キーが設定されている場合は、「ネットワークキー」に本商品（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。本商品（親機）の暗号化キーの設定方法、確認方法については、<暗号化の設定（親機）>（☛P3-23）を参照してください。ただし、本商品（親機）の暗号化の設定が 152bitWEP や AES、TKIP を使用している場合は、接続できません。
- Windows® XP SP1 以外の場合は、キーのインデックス（詳細）では０～３が選択できます。
  これは、本商品（親機）の［暗号化キー番号］の１番～４番に相当します。
  数字が１つずれていますので注意してください。
  （Windows® XP SP1 の場合は本商品（親機）と同じ１～４が選択できます。）

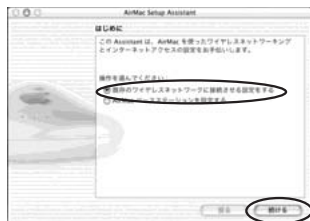
6 ［OK］ボタンをクリックする

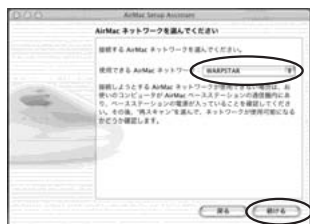
しばらくすると、画面右下の通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。

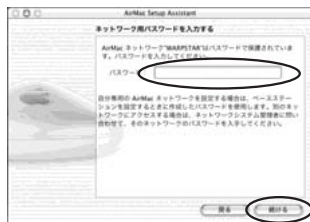
AirMac対応のパソコンで接続する

画面表示はMac OSのバージョン等により、変わることがあります。
ここではMac OS X（Version 10.1.2）の場合を例に説明しています。

1 「AirPort Setup Assistant」を起動する

2 「既存のワイヤレスネットワークに接続させる設定をする」を選択し、［続ける］をクリックする

3 「使用できるAirMacネットワーク」で本商品（親機）のネットワーク名を選択し、［続ける］をクリックする

※ 工場出荷時のネットワーク名は、無線LAN設定ラベル（本商品底面に貼付のラベル）に記載されています。
ただし、初期化した場合は初期値の［WARPSTAR-XXXXXX（XXXXXXは、親機の側面に記載されているMACアドレスの下6桁)］になります。

4 本商品（親機）にパスワードを設定している場合は、「パスワード」に入力し、［続ける］をクリックする

※ ここで入力するパスワードは、[クイック設定Web]－[暗号化設定]で設定した「暗号化キー」です。

本商品（親機）には、出荷時に暗号化キーが設定されています。
本商品（親機）の底面に記載されている暗号化キーの英数字を入力してください。

5 ［続ける］をクリックする

6 ［終了］をクリックする

 お知らせ

Mac OS 9.2.1 をご利用の場合

●Mac OS 9.2.1 のバージョンをご使用の場合は、次の手順で設定します。

① AirMac に接続した Macintosh を起動する

② ［メニューバー／アップルメニュー］から［AirMac］を選択する
AirMac の設定ツールが起動します。

③ ［AirMac ネットワーク］の［ネットワークの選択］欄のプルダウンメニューから、本商品（親機）を選択する

※工場出荷時のネットワーク名は、無線 LAN 設定ラベル（本商品底面に貼付のラベル）に記載されています。
ただし、初期化した場合は初期値の［WARPSTAR-XXXXXX（XXXXXX は、親機の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁)］になります。

ネットワークの選択リストに本商品がない場合は、本商品（親機）の電源を切り、再度電源を入れ直して、20 ～30 秒待ってから再度、プルダウンメニューをクリックしてください。（電源は、10 秒ほど待ってから、入れ直してください。）

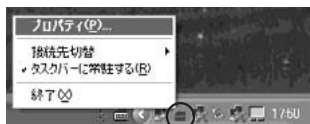
4-2 子機（WL54AG）の設定をする ＜サテライトマネージャ＞

子機（WL54AG）の無線通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線 LAN のデータ保護（暗号化）の設定はサテライトマネージャで行います。

サテライトマネージャの使い方

■サテライトマネージャを起動する

1 ［スタート］ー［プログラム］ー［AtermWARPSTAR ユーティリティ］ー［サテライトマネージャ］をクリックする

2 通知領域（タスクトレイ）の［サテライトマネージャ］のアイコンを右クリックする

3 ［プロパティ］を選択すると、サテライトマネージャの設定画面が表示される

状態
接続中の無線通信の状態を表示します。

ネットワーク一覧
利用できる親機（アクセスポイント）の一覧を表示し、無線接続のための設定や接続切り替えができます。

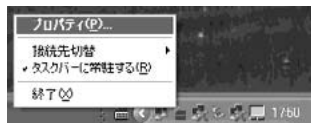
グラフ表示
接続中の無線通信の通信速度や、通信強度（信号強度）をグラフで表示します。

詳細設定
無線機能の ON/OFF 設定やサテライトマネージャから設定するか、Windows® XP のワイヤレスネットワーク設定から設定するかの切り替えを行います。

■サテライトマネージャで設定する

1 **サテライトマネージャを起動する**
［スタート］－［プログラム］－［AtermWARPSTAR ユーティリティ］－［サテライトマネージャ］をクリックする

通知領域（タスクトレイ）に［サテライトマネージャ］が表示されます。

2 **通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する**

3 **［ネットワーク一覧］タブをクリックする**

4 **接続先のネットワーク名をクリックして、［設定］または［親子同時設定］をクリックする**

※ 工場出荷時のネットワーク名は、無線LAN 設定ラベル（本商品底面に貼付のラベル）に記載されています。
ただし、初期化した場合は初期値の［WARPSTAR-XXXXXX（XXXXXX は、親機の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）］になります。

新しく接続先を登録する場合は、［新規登録］をクリックしてください。

4 子機の設定をする

（次ページに続く）

5 無線 LAN の設定を行う

※出荷時に本商品（親機）に暗号化の設定がされています。本商品（親機）底面のラベルに従って設定してください。

■親機も同時に設定する場合

手順４で[親子同時設定]をクリックした場合は次のように設定します。

[ネットワーク名]

使用するネットワークの名称を入力します。手順４で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

[無線動作モード]

ネットワーク内で使用する無線モードを選択します。

[チャネル番号]

親機と通信するチャネルを選択します。

[暗号化モード]

●暗号化モードで WEP を使用する場合

①[暗号化モード] で [WEP] を選択する

②暗号強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する

「64bit」（弱）＜「128bit」＜「152bit」（強）の順で強い暗号がかかります。

③暗号化キーを入力する

英数字は０ ～ ９、a ～ z、A ～ Z で構成されている文字列を指定できます。16 進は０ ～ ９、a ～ f、A ～ F で構成されている文字列を指定できます。

●暗号化モードで［WPA-PSK（TKIP)]、または［WPA-PSK（AES)］を使用する場合

①［暗号化モード］で［WPA-PSK（TKIP)]、または［WPA-PSK（AES)］を選択する

②親機に設定した暗号化キーを入力する

暗号化キーは、８ ～ 63 桁の英数記号、または､64 桁の 16 進数で入力します。

無線モードの選び方

802.11a ‥‥電波が届く範囲であれば他の無線モードより高速な通信が可能です。

802.11g ‥‥802.11a よりも広い範囲で高速な通信が可能です。

802.11g+b ‥802.11b にしか対応していない子機との混在環境での利用に適しています。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・8～63桁の場合
英数記号
【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
</table>

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

・64桁の場合
16進数【0～9、a～f、A～F】

※暗号化の設定を行う場合は必ず親機側を先に設定してください。

■子機のみ設定する場合

手順4で「設定」をクリックした場合は、使用する親機にあわせて次のように設定します。

[ネットワーク名]

親機の設定にあわせてネットワーク名を入力します。手順４で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

[通信モード]

アクセスポイント通信を選択します。

[暗号化モード]

親機の設定にあわせて「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号強度」や「暗号化キー」などを入力します。

6 ［登録］をクリックする

お願い

●同じネットワーク名（ESS-ID）を設定した複数の親機（アクセスポイント）間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの［ネットワーク一覧］のチャネル表示が［状態］の表示と異なる場合があります。［状態］表示の値を参照してください。

●2台目以降の子機を追加する場合は、1台目と同じ暗号化キーを入力してください。

●親機で「WPA-TKIP モード」使用している場合、子機側は暗号化キーが一致していれば、「WPA-TKIP モード」または「WPA-AES モード」のどちらの暗号化モードでも親機に接続できます。

お知らせ

● [詳細設定] タブをクリックすると、[詳細設定] で次の設定が行えます。

・**省電力モード**
ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスループットが低下します。

・**送信出力**
他のネットワークへの干渉を減らしたいときや、ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。

・**ストリーミングモード**
無線通信状態を監視するために子機が行っている、無線LANネットワークの参照（スキャン）動作を制限して、スキャン動作の影響で発生するストリーミング映像の一時的な乱れなどをおさえます。「自動」で動画や音声の途切れなどが発生する場合は「ON」に設定してください。

！ サテライトマネージャの使い方

通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。

[プロパティ]：
通信モードの設定、暗号化をすることができます。
[状態] タブで親機との接続状態を確認することができます。
無線の通信状態が「普通」または「強い」となることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

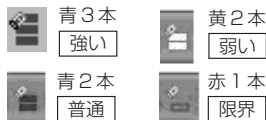
[接続先切替]：
サテライトマネージャで設定した接続先（親機）を切り替えて使用できます。

[タスクバーに常駐する]：
[タスクバーに常駐する] にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

[終了]：
サテライトマネージャを終了します。

■親機との接続状態を確認する

サテライトマネージャを起動すると、親機と子機の通信状態を確認することができます。

1 **通知領域（タスクトレイ）の［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する**

2 **［状態］タブをクリックする**

親機と子機の通信状態が表示されます。

（次ページに続く）

3

通信状態を確認し、[閉じる] をクリックする

無線の通信状態が「普通」または「強い」と表示されることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

■サテライトマネージャで確認できる接続状態について

【グラフ表示】

通信中の無線の受信信号強度やリンク速度をリアルタイムにグラフ表示しています。

【状態】－【チャネル状況】

近くのアクセスポイント（親機など）が、どのチャネルで使われているかを表示します。同じ無線チャネルを使うと、他の無線通信と干渉し、スループットが低下する場合があります。空いているチャネルをチェックすることができます。

現在、接続中のチャネルは赤で表示されます。

Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」で設定を行うには

Windows® XPの場合は、子機の設定をWindows® XPに内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で設定できます。
ただし、「ワイヤレスネットワークの設定」では、WEP（152bit）、TKIP、AES、ESS-IDステルス機能は、ご利用になれません。暗号化無効またはWEP（64bit、128bit）のみご利用いただけます。通常はWindows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」を無効にして、サテライトマネージャで設定してください。

! らくらくウィザードで設定を行った場合

Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。
Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。

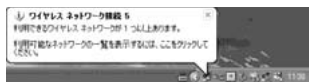
①サテライトマネージャを起動する
②通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
③「詳細設定」タブをクリックする
④「Windows XPのワイヤレスネットワーク設定を無効にする」のチェックを外す

⑤「閉じる」をクリックする

●暗号化設定されていない親機に接続する場合（☛P4-16）
●暗号化設定されている親機に接続する場合（☛P4-17）

4
子機の設定をする

■親機に接続する（親機が暗号化設定されていないとき）

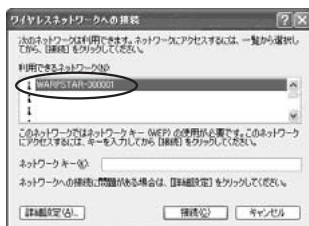
1 **パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバルーンが表示される**

表示されないときは（☛P5-9）

2 **パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする**

3 **「利用できるネットワーク」を選択する**

※ 工場出荷時のネットワーク名は、無線LAN 設定ラベル（本商品底面に貼付のラベル）に記載されています。
ただし、初期化した場合は初期値の［WARPSTAR-XXXXXX（XXXXXX は、親機の側面に記載されている MAC アドレスの下６桁)］になります。

※[利用できるネットワーク］に使用する親機が表示されていない場合には、親機の電源を入れ直し、手順 1 からやり直してください。

●次の画面が表示されたときは、「セキュリティで保護されていなくても、選択したワイヤレスネットワークへ接続する」にチェックを入れて［接続］をクリックしてください。

4 **［接続］をクリックする**

5 **パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する**

■暗号化を設定して親機に接続する（親機が暗号化設定されているとき）

以下の設定はWindows® XPのワイヤレスネットワークを使用して64bitWEP/128bitWEPをご利用になる場合の説明です。親機に152bitWEP、TKIP、AES、ESS-IDステルス機能が設定されている場合、Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定を停止してサテライトマネージャで設定を行う必要があります。
※暗号化の設定を行う場合は必ず親機側を先に設定してください。

1 **パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバルーンが表示される**

表示されないときは（☛P5-9）

2 **パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする**

3 **「利用できるネットワーク」を選択する**

※工場出荷時のネットワーク名は、無線LAN設定ラベル（本商品底面に貼付のラベル）に記載されています。
ただし、初期化した場合は初期値の［WARPSTAR-XXXXXX（XXXXXXは、親機の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）］になります。
※［利用できるネットワーク］に使用する親機が表示されていない場合には、親機の電源を入れ直し、手順1からやり直してください。

<Windows® XP Service Pack 1のとき>

●［このネットワークでIEEE802.1xを有効にする］の☑は必ず外してください。

4 **親機の暗号化キー番号が1番の場合、［ネットワークキー］に暗号化キーを入力し、［接続］をクリックする**

※キー番号に2番〜4番を使っている場合や、一度設定した暗号化設定を変更する場合は手順5に進みます。

（次ページに続く）

5 ［詳細設定］をクリックする

6 接続する親機のネットワーク名をクリックし、［構成］をクリックする

すでに接続する親機のネットワーク名が［優先するネットワーク］に表示されている場合は、［優先するネットワーク］欄からネットワーク名を選択し、［プロパティ］をクリックします。

7 ①～⑤の設定を行う

①[データの暗号化]にチェックする

（画面に［ネットワークアソシエーション］・［データの暗号化］の項目が表示されている場合は、それぞれ［開いています］・［WEP］を選択する）

②[キーは、自動的に提供される]のチェックを外す

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII文字/16進数の識別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

- ・ASCII文字の場合：英数字5文字、または13文字で指定（13文字は親機に128bitWEPを設定している場合のみ）
- ・16進数の場合：0～9・a～f・A～Fで10文字、または26文字で指定（26文字は親機に128bitWEPを設定している場合のみ）

④親機の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する

⑤[OK]をクリックする

画面は例です

! 暗号化設定< Windows® XP Service Pack1 以外の場合>

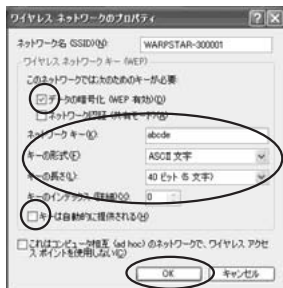
①[データの暗号化] にチェックする
②[キーは、自動的に提供される］のチェックを外す
③[ネットワークキー］は、親機に入力した暗号化キーを入力する

キーの形式：
親機で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII文字を選択してください。
親機で「指定方法」を16進数と設定した場合は、16進数を選択してください。

キーの長さ：
親機で「暗号強度」を標準（64bit）と設定した場合は、40bitを選択してください。
親機で「暗号強度」を拡張（128bit）と設定した場合は、104bitを選択してください。

キーのインデックス：
特に使いません。
0～3がありますが、0のままご使用ください。
（1～3に別の暗号化キーを登録しておき、［キーのインデックス］を切り替えて、別の暗号化キーを使うことができます。）

※親機側は、クイック設定Webの［暗号化設定］で使用する暗号化キーを確認してください。

④[OK］をクリックする

■親機との通信状態を確認するには

Windows® XP の場合は次の手順で通信状態を確認できます。

1 パソコン画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックする

2 ［状態］をクリックし、［全般］タブで確認する

3 無線設定が正しく行われていること を確認する

・［状態］は「接続」になっていること
・［速度］が「1 ～ 54Mbps」になっていること

5 お困りのときには

5-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し（☛P5-10）、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が初期値（☛P5-11）に戻りますのでご注意ください。

設置に関するトラブル

症　状		原因と対策
電源を入れたとき	POWERランプが点灯しない	電源が入っていません。 ●ACアダプタ（電源プラグ）が外れている →ACアダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。 ●ACアダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると本商品に供給されている電源も切れてしまいます。 ●ACアダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐにACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから外して別紙に示す修理持ち込み先またはお問い合わせ先にご相談ください。
WWWブラウザの設定画面が表示されない		●らくらくウィザードからクイック設定Webを起動してください。（☛P3-12） ●パソコンのIPアドレスが正しく設定されているか確認してください。（☛P3-3） すでに本商品が、無線LAN等によりDHCPサーバの存在するネットワークに接続されている場合は、本商品のIPアドレスがDHCPにより変わってしまっている可能性があります。この場合は、ネットワーク内のDHCPサーバ（ルータやADSLモデム等）の電源を切り、本商品（親機）を再起動したうえで設定をしてください。DHCPサーバがない状態で本商品を再起動すると本商品のIPアドレスは工場出荷時の設定（192.168.0.204）に戻ります。
本商品が正常に動作しないが、原因がわからない		●設定に誤りがある場合があります。 ※どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。（☛P5-10）

通信に関するトラブル

症　状	原因と対策
通信できない	●いったん、本商品のACアダプタを電源コンセントから抜き、接続されているパソコンを終了させて、①本商品→②接続されているパソコンの順に電源を入れ直してください。 ●ご使用の無線のネットワーク内で使用できるWARPSTARサテライト（子機）は10台までです。10台以下でご使用ください。 ●暗号化の設定が一致していない。 WARPSTAR親機と本商品は暗号化キーが一致しないと通信できません。暗号化キーを確認してください。初期化すると暗号化が解除されます。 ●本商品の設定が正しく行われていることを確認してください。（☛P3-14） ●パソコンのIPアドレスがブロードバンドモデムなどから取得できていない。（IPアドレスを自動取得に設定している場合） →IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーをお使いのネットワーク環境に合わせて設定してください。設定は、P3-3①～③の手順で表示される［インターネットプロトコル（TCP/IP）］の［プロパティ］（Windows® XPの場合）で行ってください。

（次ページに続く）

子機に関するトラブル

症　状	原因と対策
ネットワーク名を忘れてしまった	●親機の ETHERNET ポートに接続したパソコン（有線 LAN）から、クイック設定 Web の［無線 LAN 基本設定］で確認してください。 ●サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して「ネットワーク一覧」で、「スキャン」をクリックして本商品（親機）を検索してください。ネットワーク名とアクセスポイント名で本体を識別できます。
データ保護設定（暗号化）のキーを忘れてしまった	●ETHERNET ポートに接続したパソコンから、クイック設定 Web の［無線 LAN 基本設定］で確認してください。
本商品（親機）に接続できない	●本商品（親機）の電源が入っているか、確認してください。 ●本商品（親機）との距離が離れすぎていないか、確認してください。 ●子機のランプのつき方を確認してください。消灯している場合は、子機が本商品（親機）を正しく認識していません。本商品（親機）との通信の設定をやり直してください。 ●ネットワーク名（ESS-ID）があっているか、確認してください。 本商品（親機）の設定値は、クイック設定 Web の［無線 LAN 基本設定］で確認できます。 ※工場出荷時のネットワーク名は、無線 LAN 設定ラベル（本商品底面に貼付のラベル）に記載されています。 ただし、初期化した場合は初期値の［WARPSTAR-XXXXXX（XXXXXX は、親機の側面に記載されている MAC アドレスの下６桁）］になります。 ●本商品（親機）と暗号化キーが一致しているか、確認してください。本商品（親機）は、あらかじめ ESS-ID と暗号化キーが設定されています。装置の底面に貼ってある内容を参照して ESS-ID と暗号化設定を子機側で行ってください。 ●通信モードがあっているか、確認してください。 本商品（親機）との通信は「アクセスポイント通信」で使用します。 ※通信モードは、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、「設定」をクリックして確認します。 ●コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信がきれる場合があります。お互いを数メートル以上離してお使いください。

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>本商品（親機）に接続できない</td><td>●WL54AGの場合、子機のドライバが正しくインストールされていない場合があります。次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。
①［スタート］－［(すべての）プログラム］－［WARPSTARユーティリティ］－［ドライバアンインストール］をクリックする
②画面の指示に従ってドライバをインストールする
●上記の手順でも正しくインストールされていない場合は、次の手順で再インストールしてください。
以下は子機（WL54AG）の例です。
<Windows® XPの場合>
①添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をパソコンにセットする
しばらくするとメニュー画面が表示されるので、［終了］をクリックする
②［スタート］－［コントロールパネル］をクリックする
③［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
④［システム］アイコンをダブルクリックする
⑤［ハードウェア］タブをクリックする
⑥［デバイスマネージャ］をクリックする
⑦［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑧［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］を右クリックし、［プロパティ］を表示する
⑨［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする
⑩次の手順で再インストールを行う
a.「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、［次へ］をクリックする。
b.「次の場所で最適のドライバを検索する」と「次の場所を含める」にチェックし、［参照］をクリックする。
c. CD-ROMドライブから「Drv」－「WinXP」を選択し、［OK］をクリックする
d.［次へ］をクリックする
e.［続行］をクリックする
f. インストールが完了したら、［完了］をクリックする
⑪CD-ROMを取り出す</td></tr>
</table>

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
本商品（親機）に接続できない	⑫WL54AGのドライバのインストールを確認する a.［スタート］－［マイコンピュータ］－［システム情報を表示する］をクリックする b.［ハードウェア］タブをクリックする c.［デバイスマネージャ］をクリックする d.［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする e.［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する **＜Windows® 2000 Professionalの場合＞** ①添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をパソコンにセットする しばらくするとメニュー画面が表示されるので、［終了］をクリックする ②［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする ③［システム］アイコンをダブルクリックする ④［ハードウェア］タブをクリックする ⑤［デバイスマネージャ］をクリックする ⑥［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑦［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑧［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする ⑨次の手順で再インストールを行う a.［次へ］をクリックする b.［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］をクリックし、［次へ］をクリックする c.［場所を指定］をチェックし、［次へ］をクリックする d.［参照］をクリックする e. CD-ROM内の「Drv」－「Win2000」フォルダを選択し、［開く］をクリックする f.［OK］をクリックする g.［次へ］をクリックする h.「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されたときは［はい］をクリックする i. インストールが完了したら［完了］をクリックする ⑩CD-ROMを取り出す

症　状	原因と対策
本商品（親機）に接続できない	⑪WL54AGのドライバのインストールを確認する a.［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする b.［システム］アイコンをダブルクリックする c.［ハードウェア］タブをクリックする d.［デバイスマネージャ］をクリックする e.［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする f.［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する **<Windows® Meの場合>** ①添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をパソコンにセットする しばらくするとメニュー画面が表示されるので、［終了］をクリックする ②［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする ③［システム］アイコンをダブルクリックする ④［デバイスマネージャ］タブをクリックする ⑤［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑥［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑦［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする ⑧次の手順で再インストールを行う a.［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］をクリックし、［次へ］をクリックする b.「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」と「検索場所の指定」にチェックし、［参照］をクリックする c. CD-ROM内の「Drv」－「WinMe」フォルダを選択し、［OK］をクリックする d.［次へ］をクリックする e.［次へ］をクリックする f. インストールが完了したら［完了］をクリックし、画面の指示に従ってパソコンを再起動する ⑨CD-ROMを取り出す ⑩WL54AGのドライバのインストールを確認する a.［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする b.［システム］アイコンをダブルクリックする c.［デバイスマネージャ］をクリックする d.［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする e.［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
サテライトマネージャは使える状態（青表示）になるが本商品（親機）に接続できない	●データ保護（暗号化）を有効にしている場合は、本商品（親機）と暗号化キー、暗号強度が一致しているか確認してください。 ●Windows® XP をご利用の場合は、［Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を無効にする］設定になっていることを確認してください。
サテライトマネージャの「ネットワークの参照」で本商品（親機）が見つからない	●電波状態により、「ネットワークの参照」で本商品（親機）の電波を検出できない場合があります。 このような場合は、「新規登録」で直接ネットワーク名（ESS-ID）を入力して検索し直してください。 ●クイック設定 Web の［無線 LAN 基本設定］で「ESS-ID ステルス機能」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 「新規登録」で直接ネットワーク名（ESS-ID）を入力するか、ETHERNET ポートに接続したパソコンから「クイック設定 Web」を起動して「ESS-ID ステルス機能」を「使用しない」に変更して「ネットワークの参照」で検索してください。 ●子機のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ●ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させないと、子機のドライバが正しくインストールされない場合があります。LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させてから、設定を行ってください。
「らくらくウィザード」の「無線カードの設定」画面で［親機の設定も同時に切り替える］がグレーアウト（選べない状態）して設定できない	●本商品（親機）との接続ができていません。 「本商品（親機）に接続できない」（☛P5-4）を確認してください。
本商品（親機）と子機の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで子機を移動したり、本商品（親機）と子機の向きを変えたりして電波状態を確認してください。
「パソコン間通信」で通信できない	●通信モードを「パソコン間通信」でご使用の場合は、［チャネル番号］が一致しているか、確認してください。 ●WL54AG で「パソコン間通信」を行う場合は、［無線動作モード］の「802.11a」または「802.11b」を選択してください。 ※［チャネル番号］、［無線動作モード］の確認は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、［設定］をクリックして確認します。

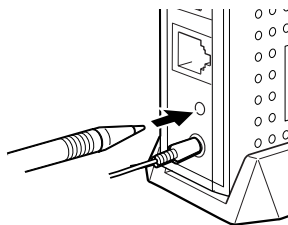
症　状	原因と対策
Windows® XPの［ワイヤレスネットワーク］の設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない	●バルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。
無線状態が良好なのに、通信できない	●固定IPアドレスでお使いの場合は、本商品（親機）と子機に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 例：本商品（親機）が192.168.0.204のとき、子機は192.168.0.XXX
無線状態が良好なのに、速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 →ETHERNETポートに接続したパソコンから「使用チャネル」の番号を変更してください。「クイック設定Web」を起動して［無線LAN基本設定］の「使用チャネル」の番号を変更します。 設定値の目安として、無線動作モードがIEEE802.11g、IEEE802.11g+bモードの場合、他の無線設備が使用しているチャネルから3チャネル以上空けるようにしてください。 ・無線動作モードIEEE802.11g+bモードの場合：設定値1～13 ・無線動作モードIEEE802.11aモードの場合：設定値34,38,42,46 ●本商品（親機）と子機が近すぎる場合は、本商品（親機）と子機を1m以上離してください。また、サテライトマネージャの設定画面で「送信出力」を下げてみてください。ただし、その場合は、遠くにある子機から接続しにくくなります。
AVサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●サテライトマネージャの設定で「ストリーミングモード」が「自動」のときに、画像の乱れや音声の途切れなどが発生する場合は、「ON」に設定してください。(☛P4-12) ●AVサーバのレートを低品質に下げてご利用ください。 ●無線状態が悪い場合は、電波状態が良好となるところに移動させてください。
「親子同時設定」ができない	●本商品（親機）のIPアドレスを変更している →らくらくウィザードで、親機のIPアドレス192.168.0.204で登録したあと、IPアドレスを変更してしまった場合、子機（WL54AG）から［親機の設定も同時に切り替える］が使えなくなります。この場合、この機能を使用するためには再度、らくらくウィザードで「WARPSTARベースのIPアドレス」で変更したIPアドレスを設定します。 ●子機のパソコンのIPアドレスと本商品(親機)のIPアドレスのネットワーク体系が一致していない。 →本商品（親機）のIPアドレスは、出荷時の設定で「192.168.0.204」になっています。子機のパソコンのIPアドレスが「192.168.0.XXX」になっていないと本商品（親機）を認識できません。子機のパソコンのIPアドレスを「192.168.0.XXX」に変更して接続してください。(☛P3-3)

5-2 初期化する

本商品に設定した内容を消去して初期値にします。本商品がうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
初期化すると工場出荷時の設定（無線設定、ネットワーク名、暗号化キーの設定）が消去されますので再設定が必要になります。

スイッチで初期化する

1 本商品の電源が入っていることを確認する

2 本商品の背面にあるリセットスイッチをボールペンの先などで５秒押す
AIR ランプが橙点灯し、３秒以上でリセットスイッチが有効になります。

3 リセットスイッチからボールペンなどをはなす

■ 本商品の初期値

本商品を初期化すると、次のような設定になります。

設定項目			初期値	工場出荷時の設定値
無線設定	通信モード		アクセスポイント 通信モード	アクセスポイント 通信モード
	無線モード		IEEE802.11g+b モード	IEEE802.11g+b モード
	ネットワーク名（ESS-ID）		WARPSTAR-XXXXXX （XXXXXX は MAC アドレスの下６桁）	無線 LAN 設定ラベル （本体底面に貼付） に記載
	使用するチャネル		7	7
	暗号化モード		使用しない	WEP
	暗号強度		未設定	128bit
	指定方法		未設定	英数字（13 桁）
	暗号化キー	キー１	未設定	無線 LAN 設定ラベル （本体底面に貼付）に記載
		キー２	未設定	未設定
		キー３		
		キー４		
	使用する暗号化キー		1	1
無線設定	ESS-ID ステルス機能		OFF	OFF
	MAC アドレスフィルタ設定		OFF	OFF
IP アドレス	IP アドレス（DHCP 無効時）		192.168.0.204	192.168.0.204
	ネットマスク（DHCP 無効時）		255.255.255.0	255.255.255.0
管理者設定	管理者名		admin	admin
	管理者パスワード		未設定	未設定

お知らせ

●無線設定・ネットワーク名・暗号化キーの設定は、本商品底面に貼付のラベルに記載されています。

付録

6-1 製品仕様

■ WL5400AP 仕様一覧

項目			諸元および機能
WANインタフェース	物理インタフェース		8ピンモジュラージャック（RJ-45）×1ポート
	インタフェース		100BASE-TX/10BASE-T（Auto MDI-X 対応）
	伝送速度		100Mbps/10Mbps
	全二重／半二重		全二重／半二重（自動切替）
LANインタフェース	物理インタフェース		8ピンモジュラージャック（RJ-45）×1ポート
	インタフェース		100BASE-TX/10BASE-T（Auto MDI-X 対応）
	伝送速度		100Mbps/10Mbps
	全二重／半二重		全二重／半二重（自動切替）
無線LANインタフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/チャネル	5.2GHz帯（5,150-5,250MHz）／34/38/42/46ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）
		伝送距離	［見通し］20m(54Mbps)～90m(6Mbps) ※屋外使用禁止
	IEEE802.11g	周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯（2,400-2,484MHz）/1～13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分発多重）方式
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）
		伝送距離	［見通し］20m(54Mbps）～180m(1Mbps） ※IEEE802.11g+bモード時
	IEEE802.11b	周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯（2,400-2,484MHz）/1～13ch
		伝送方式	DSSS（スペクトラム直接拡散）方式
		伝送速度	11/5.5/2/1Mbps（自動フォールバック）
		伝送距離	［見通し］50m(11Mbps）～180m(1Mbps)
	アンテナ		ダイポールアンテナ
	セキュリティ		ESS-ID、WEP(152/128/64bit)、WPA-PSK（TKIP/AES）
	通信モード		アクセスポイント通信

※　（　）で表示の速度は規格による速度（リンクスピード）を示すものであり、実効速度とは異なります。
実効速度は、ご利用環境や接続装置などにより変動します。

<table>
<tr><th colspan="3">項　目</th><th>諸元および機能</th></tr>
<tr><td rowspan="5">ヒューマンインタフェース</td><td rowspan="5">状態表示ランプ</td><td>POWER</td><td>電源通電時点灯</td></tr>
<tr><td>WAN</td><td>ブロードバンド接続ポートリンク確立時点灯、データ送受信時点滅、100BASE-TX時緑点灯、10BASE-T時橙点灯</td></tr>
<tr><td>LAN</td><td>LANポートリンク確立時点灯、データ送受信時点滅、100BASE-TX時緑点灯、10BASE-T時橙点灯</td></tr>
<tr><td>AIR</td><td>IEEE802.11a無線時橙遅い点滅、
IEEE802.11b/IEEE802.11g無線時緑遅い点滅、
データ送受信時速い点滅、リセットスイッチ押下中およびファームウェアのバージョンアップ中橙点灯</td></tr>
<tr><td>リセットスイッチ</td><td>リセットスイッチ×1</td></tr>
<tr><td colspan="3">電源</td><td>AC100V±10%　50/60Hz（ACアダプタ使用：出力12V、1A）</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電力</td><td>最大約8W</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法</td><td>約30(W)×109(D)×97(H)mm（突起部分を除く）</td></tr>
<tr><td colspan="3">質量（本体のみ）</td><td>約0.2kg</td></tr>
<tr><td colspan="3">動作環境</td><td>温度0～40℃　湿度10～90%（結露しないこと）</td></tr>
</table>

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載·無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り·記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

お願い

・**パソコンの設置や操作方法**などについてのお問い合わせは、**各パソコンのサポートセンター**などへお願いいたします。
・**ADSLなど回線接続の条件**などについてのお問い合わせは、**各通信事業者またはプロバイダ**へお願いいたします。

この取扱説明書は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

NECアクセステクニカ株式会社
Aterm WL5400AP 無線LANご利用ガイド　第5版

ND-23367（J）-00
2004年2月